

令和6年定例会 2月定期議会
産業建設常任委員会調査報告書

令和6年3月13日

産業建設常任委員会

産業建設常任委員会 活動状況

〔報告期間〕 令和5年12月6日～令和6年1月31日

日 時	活動区分	内 容	頁
12. 6 (水) 10:50～11:30	検 討	《委員のみ》 ■12月定期議会中における委員会並びに分科会日程について 〔出席者〕 佐々木好博委員長ほか委員7名	-
	委員間討議	《委員のみ》 ■陳情・要望の取扱いについて 〔出席者〕 佐々木好博委員長ほか委員7名	
12. 7 (木) 10:00～11:50	所管事務調査	《産業経済部》 ■宮城県市議会議長会定期総会における新規議案提出に向けた所管事業の現状・課題等の把握について ・農業用排水施設等維持管理事業 ・環境保全型農業直接支払事業 《建設部》 ■宮城県市議会議長会定期総会における新規議案提出に向けた所管事業の現状・課題等の把握について ・登米圏域・古川間連絡幹線道路整備 〔出席者〕 佐々木好博委員長ほか委員7名 産業経済部 千葉部長ほか4名 建設部 伊藤部長ほか5名	-
12. 11 (月) 10:20～15:10	所管事務調査	(現地調査) ■企業訪問 ・株式会社佐藤製材所 (津山町柳津) ・有限会社日野製材所 (津山町横山) 〔出席者〕 佐々木好博委員長ほか委員4名	3
12. 20 (水) 13:41～14:00	委員間討議	《委員のみ》 ■企業訪問の振り返り ■委員会調査報告書について 〔出席者〕 佐々木好博委員長ほか委員7名	-
1. 26 (金) 15:00～17:20	意見交換	■登米市産業振興会との意見交換会 〔出席者〕 佐々木好博委員長ほか委員6名 登米市産業振興会 山田会長ほか18名 産業経済部地域ビジネス支援課4名	5

業建設常任委員会 活動概要

【所管事務調査】

1. 日 時：令和5年12月11日（月） 午前10時20分～午後3時10分
2. 場 所：株式会社佐藤製材所（津山町柳津）、
 有限会社日野製材所（津山町横山）
3. 事 件
 <現地調査>
 （1）企業訪問
4. 出席者：委員長 佐々木好博、副委員長 遠藤真理子、
 委 員 永島順子、工藤淳子、及川昌憲
 欠席者：委 員 武田節夫、中澤 宏、相澤吉悦

 （議会事務局）政策・改革係長 主藤貴宏
5. 概 要：（別紙のとおり）
6. 所 見：（別紙のとおり）

■企業訪問

○概要

市内企業の現状を把握するため、本年度2度目の企業訪問を実施した。

今回は、津山町の株式会社佐藤製材所と有限会社日野製材所を訪問し、「経営の現状・課題」、「雇用状況・人材確保対策」などについて意見交換を行った。

企業からは、伐採適齢期を過ぎている山もあり、木材の質の低下を懸念していることや、人材の確保に苦慮しているなどの意見が出された。

その後、製材加工現場に対する理解を深めるため、原木から製材になるまでの工程を見学した。

【株式会社佐藤製材所】



【有限会社日野製材所】



産業建設常任委員会 活動概要

【意見交換会】

1. 日 時：令和6年1月26日（金） 午前3時～午後5時20分
2. 場 所：魚文
3. 事 件：登米市産業振興会との意見交換会
4. 出席者：委員長 佐々木好博、副委員長 遠藤真理子、
委 員 永島順子、工藤淳子、武田節夫、及川昌憲、相澤吉悦
欠席者：委 員 中澤 宏

（登米市産業振興会）

会長 山田 正、副会長 伊藤秀雄、佐藤 修、
顧問 後藤康治、理事 二階堂玲子、松尾浩久、
理事兼総務企画委員長 及川健一、
総務企画委員 芳賀 仁、小松和樹、坂井裕樹、
会員 阿部泰彦、小野寺正幸、熊谷敏明、佐藤洋平、伊藤幸司、
善積昭雄、鎌田敏史、三浦孝次郎、伊藤則男

（産業経済部）産業戦略専門監 安部保男、
地域ビジネス支援課企業振興係長 佐々木智宏、
地域ビジネス支援課主事 二階堂悟、千葉飛翔

（議会事務局）政策・改革係長 主藤貴宏

5. 概 要：（別紙のとおり）
6. 所 見：（別紙のとおり）

■登米市産業振興会との意見交換会

○概 要

登米市産業振興会は、本市内における企業が業種、企業規模を超えて相互の理解と共通の受益を目指し、地域産業の活性化と健全な発展に寄与することを目的として平成18年6月7日に設立。令和6年1月現在の会員企業数は83社となっている。

登米市産業振興会との意見交換会は、市内企業の現状と課題、議会や常任委員会活動について相互理解を深め、企業活動の活性化と地域経済の発展に寄与することを目的として、平成25年度から始まった。

本年度は、「地域活性化対策」をテーマに意見交換が行われた。



○所 見

地元企業の共通課題として、「人材確保と後継者育成」が挙げられた。他にも、企業の理念や仕事の内容が地元高校生や就職希望者になかなか伝わっていないという意見も多くいただいた。

これまで、地元企業の魅力を伝えるため、就職ガイダンスの開催や企業ガイドブックを作成し配布するなどの取組を展開しているものの、依然として企業側が求める人材と学生を含めた若者とのギャップがあり、事業主の想いも含め企業と働き手のマッチングをさらに進めていくことが必要ではないか。

また、市内事業者の代表者たちからは、「登米市の産業を盛り上げたい」という思いを強く伝えられたことから、企業と行政が一体となった新たな取組を検討すべきである。